

SNS との上手につきあうには 情報モラル講演会



先週、鳥取県のデジタルシチズンシップエデュケーターである今度珠美(いまだたまみ)さんを講師にオンラインでの情報モラル講演会を実施しました。今度さんはデジタル・シチズンシップ教育やメディア・リテラシー教育について研究されており、また、子どもたちにメディアとの付き合い方を分かりやすく教えて下さる方でもあります。



今回の講演会は市島地域の小学校が統合に向けた協議が進んでいることもあり、5つの小学校の3年生～6年生が学年ごと一緒に学習を深める機会としました。



テーマは「タブレットやスマホとじょうずにつきあうには?」です。3年生の学習の様子を観ていると、タブレット等を使って調べるときや撮影するとき、



また動画等をみるときに「やってみたいこと」と「気をつけていること」をワークシートに書き込み、発表しながら学びを深めていました。子どもたちからは自分が気をつけていることとして「撮影していいから尋ねてから撮る」「時間を決めてみる」「暗いところでは見ない」などの発表があり、どの学校の子どもたちも学校や家庭においてルールをしっかり決めて活用していることが分かりました。

最後に今度さんからは、困りことが起きたときは「気持ち落ち着くまでひと休みして」

「落ち着いてから何をすればいいか考える」「不安や自信がない時は周りの人にたずねるといいよ」とアドバイス頂きました。

今回の学習を観ていて感じたのは、SNS との付き合い方については、発達段階に応じた学びを積み重ねることで良い習慣が身につく、危険から身を守ることができるということです。

また、今回市島地域の同学年で共に学び合えたのも子どもたちにとっていい刺激になったと感じました。今後も地域内を中心に交流を通じた学びも継続していきたいと思えます。